



平成27年1月吉日

## テクノフォーラム

### ー ロボット安全規格と開発支援設備・プログラムの紹介 ー

従来の産業ロボットシステムは、安全対策上人とロボットを分離して使用することが必須であり、ロボットと人の共存・協調作業が認められていませんでした。今般、労働安全衛生規則の改正、産業ロボットの安全規格「ISO 10218-1」および「ISO 10218-2」の協調作業ロボット条項などに準拠することで、国際規格に整合した人とロボットの共存・協調作業が認められるようになりました。人とロボットの協調作業が可能となることで、これまでロボットがあまり利用されていない中小製造業、食品、医薬品、化粧品などへのロボットの導入が進むことが期待されています。

本フォーラムでは、このような人とロボットの共存・協調作業に必要な、「産業ロボットとシステムの安全」、「制御システム安全」などの国際規格について解説をいたします。後半では、中小企業のロボット事業を技術面から支援する開発設備、都立産技研「ロボット開発セクター」、安倍内閣が進める革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) から、原発、巨大地震など極限災害環境であってもタフに仕事ができるロボット・イノベーションを目指す「タフ・ロボティクス・チャレンジ」の紹介をお願いいたしました。

是非ご参加いただき、各位のビジネスにお役立ていただけると幸いです。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 日 時：平成27年2月27日（金）13:30～16:30（12:45 受付開始）
- 場 所：機械振興会館 地下2階 ホール（東京都港区芝公園3-5-8）
- 主 催：一般財団法人 機械振興協会 技術研究所
- 後 援：一般社団法人 日本機械工業連合会、一般社団法人 日本ロボット工業会
- 参加費：無料（ただし申込必要）
- 定 員：100名
- 申込方法：  
次 URL からお申込みください。  
<http://www.jspmi.or.jp/tri/tf14/>  
  
お申込み後、キャンセル・欠席される場合は、ご連絡をお願い致します。
- 申込期限：平成27年2月25日（水）
- お問い合わせ先：  
（一財） 機械振興協会 技術研究所 企画管理室（担当：長島）  
TEL: 042-475-1155 FAX: 042-474-1980 E-mail: [forum@tri.jspmi.or.jp](mailto:forum@tri.jspmi.or.jp)

## ■ プログラム：

12:45～13:30 開場（受付開始）

13:30～13:35 主催者挨拶

（一財）機械振興協会 副会長 技術研究所長 足立 芳寛

13:35～13:50 安全コンサルティング業務の紹介

（一財）機械振興協会 技術研究所 五嶋 裕之

13:50～14:20 制御システムの安全設計

（一財）機械振興協会 技術研究所 田中 清志

－ 休憩 [14:20～14:30] －

14:30～15:20 ISO10218 規格とロボット・人共存・協調作業の可能性

（株）デンソーウエーブ 制御システム事業部 技術企画部 技術管理室 室長 橋本 秀一

－ 休憩 [15:20～15:30] －

15:30～16:00 ロボット開発のための支援設備の紹介

（地独）東京都立産業技術研究センター 事業化支援本部  
技術支援部ロボット開発セクター セクター長 坂下 和広

16:00～16:30 革新的研究開発推進プログラム「タ・ホ・テイクス・チャレンジ」の紹介

（独）科学技術振興機構（JST） ImPACTプログラム・マネージャ補佐 内園 豊仁

※ 内容・講師等に変更が出る場合もございます。あらかじめご了承ください。

## ■ 会場地図：

機械振興会館 地下2階 ホール（東京都港区芝公園3-5-8）

### 【地下鉄】

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車、徒歩約8分

都営三田線「御成門」駅下車、徒歩約8分

都営大江戸線「赤羽橋」駅下車、徒歩約10分

都営浅草線「大門」駅下車、徒歩約10分

### 【J R】

山手線・京浜東北線「浜松町」駅下車、徒歩約15分

※「神谷町」駅より機械振興会館まで無料送迎バスを運行しております。

詳細は <http://www.jspmi.or.jp/> をご覧ください。

